

熊本地震震災ミュージアム KIOKUオープン



①震災ミュージアムKIOKUテープカットのようす
②蒲島知事による式辞
③吉良村長による感謝の意を込めた祝辞 ④蒲島知事から工事関係者への感謝状贈呈 ⑤544作品の応募の中から「KIOKU」のシンボルネームが採用された浦部様。宮崎美子さんより認定証が贈呈されました
⑥和楽集団 昂より本日の限定の演奏がおこなわれました ⑦午後からは村内の小中学生や村民向けの内覧会

熊本県と熊本地震で甚大な被害のあった市町村は、熊本地震の経験や教訓を学び、風化させず確実に後世に伝承し、今後の大規模自然災害に向けた防災対応力の強化を図るため、県内各地に点在する震災遺構や拠点を巡る廻廊形式のフィールドミュージアムの整備をおこなってきました。

県が整備を進めてきた震災ミュージアムKIOKUが7月15日にオープンすることに先立ち、前日の7月14日、完成式典が実施されました。同式典には、蒲島県知事、吉良村長など行政関係者、事業者など80名が参加しました。

同式典の後は、村民向けの内覧会が開催され、村内の小・中学生や一般の人たちが施設の見学をおこないました。

熊本地震記憶の廻廊MAP

